

教会
文員
委員
総務
主任
総務
常任

公共施設の再配置計画（素案）が示される 市役所の移転建て替え、青年の家の施設廃止など重大な内容！

市は、11月27日の総務文教常任委員会で、「公共施設等再配置計画（素案）」を示しました。市役所本庁舎の建て替えや、青年の家・星田コミュニティセンターの施設廃止など、重大な内容です。

市は、12月4日から1ヶ月間、パブリックコメントを実施し、今年度中に計画の策定を行うとしています。

青年の家、星田出張所 — 施設廃止し、機能を複合化

今回の「公共施設等再配置計画（素案）」は、昨年策定した「交野市公共施設等総合管理計画」にもとづき、各施設の具体的な今後の方向性を示したものです。計画（素案）では、公共施設のうち、耐震安全性の確保されていない行政系施設の対策を最優先にするとしています。

青年の家、星田出張所（コミュニティセンター）は、老朽化が進行し、バリアフリー未対応であることから、施設更新は行わず、本庁舎の更新時に機能を確保し施設の集約化・複合化を図るとともに、地域性を考慮しながら民間施設や既存施設の有効活用についても検討する、とされています。

用も検討し、将来的には学校施設との複合化や学校図書館の活用も含め検討する、とされています。

全体として、学校施設との複合化などで、公共施設の集約・削減を大きくすすめる計画となっています。

市は、12月4日から1ヶ月間パブリックコメントを実施し、今年度中に計画を策定しようとしています。公共施設のあり方は、市民生活に大きくかわる問題であり、短期間に決めるべきではありません。市民的に十分な議論が必要です。



市役所 — 移転・建て替え

現市役所本庁舎は、建物・設備が老朽化し、耐震性にも課題があるため建替えについて検討を進め、方向性としては、現敷地からの移転・建て替えで、防災拠点にふさわしい庁舎を整備し、分散している庁舎機能を集約化する、としています。

また、青年の家図書室は、「本庁舎または学校施設の更新にあわせて機能を確保し、核となる図書館機能として配置する」としています。星田図書室は、地域性も考慮しながら民間施設や既存施設の有効活

取り組みスケジュール予定（計画素案より抜粋）

施設名	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
市役所 本庁						●	集約化・複合化（予定）			
市役所 別館						●	集約化・複合化（予定）			
市役所 第2別館						●	集約化・複合化（予定）			
星田出張所						●	集約化・複合化（予定）			
青年の家						●	集約化・複合化（予定）			

計画（素案）の説明会

市は、パブリックコメント実施にあわせて、公共施設等再配置計画（素案）説明会を実施します

- ① 12月8日(金) 午後7時～ 1時間程度
- ② 12月9日(土) 午後1時～ 1時間程度

いずれも市役所別館3階中会議室

パブリックコメントが実施されます

案件：交野市公共施設等再配置計画(素案)
 平成29年12月4日(月)～平成30年1月4日(木)
 意見の提出先：交野市財産管理課
 〒576-8501 交野市私部1-1-1
 ファクシミリ 072-891-5046
 電子メール zaikan@city.katano.osaka.jp
 意見の提出方法：書面、郵送、ファクシミリ、メール
 ＊詳細は、広報12月号、市ホームページに掲載